

平成 19 年 5 月 31 日

県 内 景 況

株式会社 鹿 児 島 銀 行

株式会社 鹿児島地域経済研究所

最近の県内景況は、観光関連が緩やかに改善しているものの、生産活動や投資関連は一進一退で、個人消費も盛り上がりを欠いており、全体では足踏みが続いている。

生産活動は、電子部品関連が回復しつつあるが、飲食料品は一進一退。個人消費関連は、百貨店売上げが前年水準を維持しているものの、スーパー売上げや新車販売が盛り上がりを欠く。投資関連では、住宅着工は前年を下回ったが、民間建築工事、公共工事は前年を上回った。一方、観光入り込み客数は4か月連続で前年を上回った。

【生産活動】 ... 一進一退

電子部品関連は、IC 生産が回復しつつあり、PDP（プラズマ・ディスプレイ・パネル）は堅調。カラーLCD（液晶ディスプレイ）は国内外での受注競争激化により伸び悩んでいる。

4月の**生コン**生産は、2か月連続で前年を下回った。

4月の**紙パルプ**生産は、前年比3.1%増となった。

木材関係は、住宅建設向け需要が弱く、低調に推移している。

4月の**大島紬**生産反数は、前年比23.4%減となり、減反基調に変化は窺えない。

焼酎は、生産および出荷の増勢テンポこそ鈍化しているものの、引続き高水準で推移している。

かつお節関係は、原料高・製品安の構造は変わらず、生産も抑制基調にある。

【畜産関連】 ... 堅調

肉用牛（和牛）の枝肉相場が堅調に推移し、子牛価格は依然高値で推移している。豚肉およびブロイラー相場は、堅調に推移している。また、鶏卵相場は供給量の増加から弱含んでいる。

【茶】 ... 堅調

本年の一番茶の生産量は、生育がやや遅れたものの、栽培面積の増加もあってほぼ前年並み。平均価格は、前年をやや上回る展開となった。

【消費関連】 ... 盛り上がりを欠く

3月の百貨店売上げは、衣料品売場や食料品売場のリニューアルにもかかわらず、0.5%減と前年並みにとどまった。一方、3月のスーパー売上げは、1.5%減と2か月ぶりに前年を下回った。4月の大型小売店販売も、前年をやや下回って推移。

4月の乗用車新車販売台数は、13.8%減と15か月連続で前年を下回った。車種別にみると、普通車は6.1%増となったが、小型車が22.2%減となった。また、軽自動車は6.5%減と2か月連続の前年割れとなった。

【観光関連】 ... やや改善

4月の離島を除く主要ホテル・旅館の宿泊客数は、前年比3.0%増と4か月連続で前年を上回った。地区別にみても、鹿児島地区、指宿地区、霧島地区いずれも前年を上回った。一方、種子島・屋久島地区は、引き続き前年を下回り、伸び悩んでいる。この間の主要観光施設入場者数は、全般的に前年を上回った。

【投資関連】 ... 一進一退

4月の公共工事は、件数、請負金額ともに前年を上回った。一方、民間建築工事棟数、床面積、工事費ともに前年を上回っている。

3月の**新設住宅着工戸数**は、前年比 29.3%減と3か月連続で前年を下回った。利用関係別では、持家が0.8%、分譲が9.9%の各増、貸家が54.8%の減少となった。

4月の主要**建設資材**卸売業者の売上げは、6か月ぶりに前年を下回った。

【貿易関連】 ... 輸出が3か月連続増加

3月の**輸出額**は、半導体等電子部品とタイヤ・チューブが前年割れとなったものの、液晶表示板等の科学光学機器が前年を上回ったことから、全体では2.1%増となった。また、**輸入**は原油及び粗油が前年割れとなったものの、穀物及び同調整品が前年を上回ったことから全体では0.9%増となった。

【雇用情勢】 ... やや改善

3月の有効求人倍率は0.61倍と前月比0.02ポイント上昇し、雇用情勢はやや改善している。

【金融情勢】 ... 堅調

資金需要は、住宅ローンが堅調に推移している他、企業の設備資金にも底入れ感が窺える。

【企業倒産】 ... 負債額が6か月連続30億円超

4月の**企業倒産**は、件数は11件と前年同月(10件)を上回った。負債額は大型倒産の発生により61億1,400万円となり、6か月連続で30億円超となった。

以上

【本件に関するお問い合わせ】

(株)鹿児島地域経済研究所 (099-225-7491)